

令和4年2月9日開催

## 文教経済常任委員会資料【所管事務調査】

直江津・小木航路維持と観光を中心とした広域連携について	・・・・・・・・	1～3
参考資料		
株式会社みちのりホールディングス 会社案内	・・・・・・・・	4～12

# 直江津・小木航路維持と観光を中心とした広域連携について

## 1 佐渡汽船株の経営状況

佐渡汽船株の2021年の輸送実績は、全航路の輸送人員が約76万人、車両航送台数（乗用車換算）が約17万台となり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がなかった2019年と比べ輸送人員は▲47.9%、車両航送台数は▲20.7%となった。昨年9月末に緊急事態宣言が解除されて以降、徐々に旅客需要の回復が見られ、佐渡汽船株の見通しを上回ったものの、最盛期である夏季の業績が著しく落ち込んだ影響が大きかった。このような状況において、2021年12月期第3四半期における債務超過額は約23.0億円、通期の業績予想では債務超過額を約26.8億円と予想している。

## 2 佐渡汽船株の経営改善の取組

佐渡汽船株は、収益基盤の改善及び債務超過の解消に向けた経営改善の取組として、これまで実施している常勤取締役の報酬月額と課長以上の管理職の給与及び賞与の減額などの取組に加え、旅客・航送の各種運賃割引の休廃止や見直しなどの収支改善策を実施してきている。

また、資金繰りの安定化を図るため、取引金融機関から令和3年8月から令和4年3月末までの借入金元金の返済猶予を受けている。

さらに、令和3年4月以降、自力での債務超過解消は困難との判断から、事業再生に実績を有する事業会社からの第三者出資による資本増強策を検討し、令和4年2月7日付で株みちのりホールディングスから出資による財務改善を目的とした出資契約を締結した。

株みちのりホールディングスによる出資が実行されれば、その後は株みちのりホールディングスの子会社として、安全で安定した運航のために必要な設備やサービスを維持した上で、同社及び傘下の交通・観光事業会社との相乗効果を実現することにより、より効率的な事業運営を行っていく。

## 3 第三者割当増資等の概要

佐渡汽船株は、財務基盤の改善を図るため、株みちのりホールディングスに対して普通株式及びA種種類株式の発行により12億円の出資を受けるほか、3億円の新株予約権を発行し、総額15億円の支援を受ける予定である。なお、新株予約権については、経営状況や資金繰りの状況により、時機を見て行使の判断がなされる。また、佐渡汽船株は株第四北越銀行に対して15億円のB種種類株式を発行し、同時に同行からの払込金を同行に対する借入金の弁済に充当する方法により金融支援を受ける予定である。これらの議案が令和4年3月25日開催予定の定時株主総会で承認された場合には、同年3月31日に発行が実行される予定となっている。

これに伴い、佐渡汽船株は、既存株主の議決権の希薄化率が300%を超えること及び株式併合の手続により上場廃止となる見通しである。

<発行する株式の概要>

	普通株式	A種種類株式	新株予約権	B種種類株式
割当先	(株)みちのりホールディングス			(株)第四北越銀行
発行日	令和4年3月31日			
発行新株式数	33,805,000株	26,195,000株	(15,000,000株)	1,500株
発行価額	@20円	@20円	(@20円)	@1,000,000円
調達資金の額	6.76億円	5.24億円	(3億円)	15億円
議決権	あり(66.7%)	なし	(あり)	なし
配当	あり		(あり)	あり(劣後)

<今後のスケジュール>

令和4年3月25日(予定)	出資に関する株主総会決議
令和4年3月31日(予定)	関係機関による連携協定書の締結
令和4年3月31日(予定)	出資金払込 / (株)第四北越銀行の借入金弁済
令和4年5月6日(予定)	上場廃止

#### 4 みちのりホールディングス(株)の選定等

##### (1) 選定の理由

佐渡汽船(株)は、令和3年4月以降、事業再生に実績を有する事業会社を中心にスポンサー支援の検討を開始し、これまで、佐渡島と本土をつなぐ唯一の公共交通機関である事業運営の難しさを理解した上で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続し、経営環境が厳しい状況を踏まえ、総額15億円の資金提供を実施する意向を表明した(株)みちのりホールディングスと協議を進めてきた。

(株)みちのりホールディングスは、その傘下の交通事業会社で構成する「みちのりグループ」の経営を通じて培われた、公共交通事業に対する事業改善能力を活かした早期の経営改善及び中長期的な視野に立った成長の実現に向けて協力して取り組む強い意向を表明した。これを受けて、佐渡汽船(株)は出資者選定において重要と考えられる要素に照らして、(株)みちのりホールディングスを最適の候補と決定し、2月7日に出資契約を締結した。

##### (2) (株)みちのりホールディングスの概要

(株)みちのりホールディングスは、KDDI(株)や住友商事(株)などが出資する(株)経営共創基盤により平成21年に設立された交通・観光事業経営支援会社であり、グループには、福島交通、茨城交通、岩手県北バス、関東自動車、会津バス、湘南モノレールの6グループの交通事業と、旅行会社であるみちのりトラベルジャパンを有し、地域をまたぐ広域連携を行っている。みちのりグループの特徴は、交通・観光事業各社の経営に関わるベストプラクティスの共有に加え、広域連携の効果を各地域の交通や観光、ひいては経済社会の発展に結び付けていることにある。

### (3) 佐渡航路における経営方針

長期にわたって佐渡島・本土間の人流と物流の活性化を担い、これを通じて佐渡島の産業経済の成長と文化の発展、市民生活の利便性向上、観光による交流人口の増加に貢献する。

#### (ア) 戦略的に強化する領域

- ・観光客の増加に資するサービスのデジタル化とマーケティング
- ・佐渡島の製品の本土への輸送、同時に、増加する電子商取引等の対応も含めた本土から佐渡島への輸送

#### (イ) 佐渡汽船グループ運営方針

- ・佐渡汽船と各子会社の一体経営を徹底する。
- ・みちのりグループとの横申し連携により、事業運営能力の向上を図る。
- ・人事制度を刷新し、意欲ある人材が評価される仕組みを構築する。その際に、これまでのやり方を守るのではなく、改善することの出来る人材を高く評価する。

#### (ウ) 財務上の見通し

- ・2023年以降の営業利益黒字化
- ・2023年12月期での債務超過解消

### (4) 関係機関による連携協定

佐渡汽船(株)、(株)みちのりホールディングスと関係自治体である新潟県、佐渡市及び上越市は相互に連携し、佐渡航路の維持確保を図るとともに、産業・観光の振興や交流人口増進等の観点から同航路の活性化を目的とした協定を結ぶことを予定しており、令和2年10月23日の就航船舶変更時に付した確認事項を協定内容として協議をしていく。

## 5 小木直江津航路維持確保支援金の支出

佐渡汽船(株)に対する第三者出資による経営支援及び金融支援の実行により、資金繰りの安定及び財務体質の改善がなされ、現行のサービスが維持される見通しとなったことから、令和3年9月市議会定例会において議決された支援金について、支出の手続きを進める。支出の時期は3月上旬を予定している。

支援金の額については、首都圏等に発令されていた緊急事態宣言が令和3年9月末に解除されたこと、コロナワクチン接種等による感染者数の大幅な減少や県民限定割引「使っ得！にいがた県民割キャンペーン」の利用が好調だったことを受け、10月の輸送量が改善したことから、2億1,324万6,000円となる。

#### <予算額等>

年間計画人数	輸送見込み人数	補助対象見込み人数	支援金の額(見込み)
51,000人	15,802人	35,198人	239,696,000円

#### <支援額の決定>

①年間計画人数	②輸送実績 (見込み人数との差)	③欠航による 影響人数	補助対象人数 (①-②-③)	支援金の額
51,000人	18,360人 (+2,558人)	820人	31,820人	213,246,000円

# 株式会社みちのりホールディングス 会社案内

---

---

4



# 会社概要

会社名	株式会社みちのりホールディングス Michinori Holdings, Inc	
住所	【本社】 〒100-6608 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー8階	【東京事業所】 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル7階
連絡先	TEL 03-4562-1520 FAX 03-4562-1100	TEL 03-6250-1071 FAX 03-6250-5620
	E-mail info@michinori.co.jp	
設立の目的	グループ交通・観光事業体の持株機能及び長期的・持続的な事業価値の向上	
設立年月日	2009年3月16日	
資本金	資本金3億円（2010年4月1日）	
株主	株式会社経営共創基盤 100%	
役員	代表取締役グループCEO 松本 順（株式会社経営共創基盤 共同経営者） （株式会社日本共創プラットフォーム 取締役専務）	
	取締役 富山和彦（株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長） （株式会社日本共創プラットフォーム 代表取締役社長）	
	取締役 関 敦彦（株式会社みちのりホールディングス グループディレクター）	

経営共創基盤

100%出資

みちのり  
ホールディングス

20人

みちのりグループ

100%出資

岩手県北バス  
グループ

- ・岩手県北自動車
- ・東日本交通
- ・みちのりトラベル東北
- ・浄土ヶ浜/パークホテル
- ・瑞光 (旅館:四季亭運営)
- ・宮古エコカーシェアリング

福島交通  
グループ

- ・福島交通
- ・福交整備
- ・福島交通観光
- ・フクコーアド
- ・福交保険サービス

会津バス  
グループ

- ・会津乗合自動車
- ・会津トラベルサービス
- ・ATS保険サービス
- ・あいづスタッフ

関東自動車  
グループ

- ・関東自動車
- ・関東自動車整備
- ・関東ツアーサービス
- ・やしお観光バス
- ・那須交通

茨城交通  
グループ

- ・茨城交通
- ・運行マネジメントサービス
- ・電鉄タクシー
- ・なの花交通バス
- ・ひたちなか海浜鉄道 (49%出資)

湘南  
モノレール

みちのり  
トラベル  
ジャパン

計

従業員	928人	914人	467人	980人	1,417人	107人	4人	4,837人
車両 (バス)	414台	543台	196台	612台	693台			2,458台
車両 (その他)	11台 (カーシェア)	6編成14両 (鉄道)	81台 (タクシー)		95台 (タクシー/ハイヤー) 220台 (レンタカー)	7編成21両 (鉄道)		

# 事業内容

観光バス



路線バス



高速バス



運転士達



タクシー



電車



ロープウェイ



モノレール



観光・旅行

整備

交通

ホテル



車両整備の風景



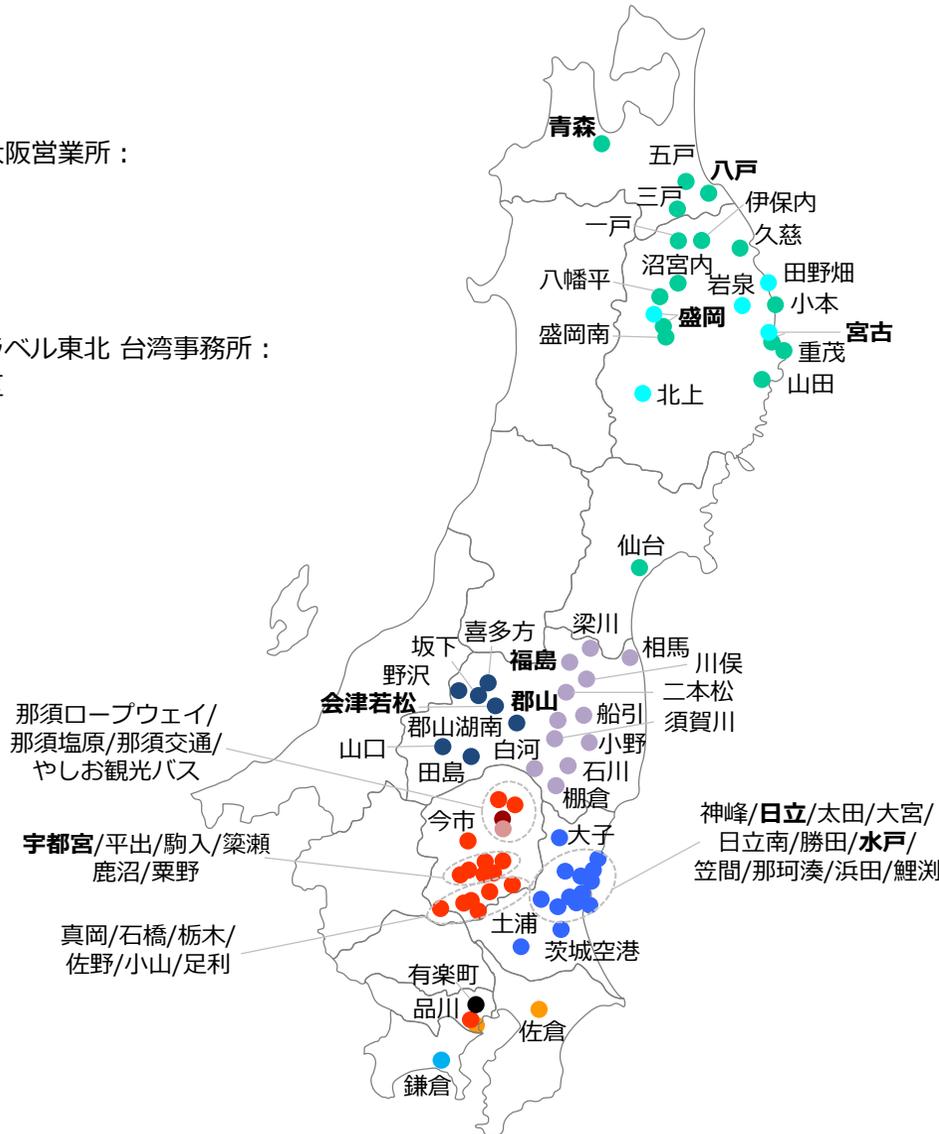
# みちのりグループの拠点

## 【西日本】

福島交通 大阪営業所：  
大阪市西区

## 【海外】

みちのりトラベル東北 台湾事務所：  
台北市中山区



- : 岩手県北自動車
- : 東日本交通
- : 福島交通
- : 会津乗合自動車
- : 関東自動車
- : やしお観光バス
- : 那須交通
- : 茨城交通
- : なの花交通バス
- : 湘南モノレール
- : みちのりトラベルジャパン

# みちのりグループ 高速バス運行路線

- ◆ 東日本エリアを中心に58路線を運行し、年間300万人以上の利用者数を持つ
- ◆ デジタルチケット導入、Free WiFi完備など、UXを改善

## 高速バス運行路線一覧

- 東北⇔首都圏 8路線
- 東北⇔東北 20路線
- 東北⇔中部・関西 4路線
- 北関東⇔首都圏 7路線
- 北関東⇔東北 1路線
- 北関東⇔中部・関西 3路線
- 東北空港路線 7路線
- 首都圏空港路線 8路線

合計：58路線

車内広報誌“みちのり”



# 縦串・横串のグループ経営



※人数はイメージ

# 広域連携効果

- ◆ ベストプラクティスの横展開や、スケールメリットの追求により、単独では成し得ない改善効果を生み出す

